

事務事業名		サンクスフォーラム開催事業				事務事業No.	121 - 7					
1. 基本情報												
担当部	担当課	担当係	作成者職名	作成者氏名	所属長職名	所属長氏名						
市民協働部	男女共同参画推進課	事業係	係長	長谷川 栄二	課長	永野 智美						
施策体系	総合計画	政策	1	人権・市民参画								
		施策	2	男女共同参画の推進								
		基本事業	1	あらゆる年代における男女共同参画への意識づくり								
	その他の計画	個別計画	第2次男女共同参画後期プラン									
根拠法令・条例・要綱等	飯塚市男女共同参画推進条例第11条、第12条、飯塚市男女共同参画推進センター条例第2条の2											
事業開始年度	平成18年度	事業終了年度	継続		事務事業類型	ソフト事業						
実施手法	全部委託	補助金等の支給	なし		実施計画期間	なし						
2. 事務事業の概要及び目的（決算成果説明書と連動）												
概要	男女共同参画の市民の意識の醸成を図り、男女共同参画社会づくりを推進するため、サンクスフォーラムを開催する。											
対象	働きかける相手・もの	全市民及び事業者等										
手段	方法・働きかけ（活動指標）	市民・関係団体で構成されたサンクスフォーラム実行委員会に事業を委託する。										
意図	対象をどのようにしたいか（成果指標）	男女共同参画社会の実現に向けサンクスフォーラムを開催し、市民への男女共同参画の意識の醸成を図る。										
3. 活動指標（決算成果説明書と連動）												
	指標名	単位	指標の説明（算式等）		前年度実績	本年度実績	次年度見込					
	実行委員会及び役員会開催数	開催数	実行委員会及び役員会開催回数		8	19	15					
	サンクスフォーラム開催数	開催数	サンクスフォーラム開催回数		1	1	1					
4. 成果指標（決算成果説明書と連動）												
指標	参加者数	単位	達成目標値		前年度実績	本年度実績	次年度見込					
		人	300	目標値	150	200	300					
説明	サンクスフォーラム参加者数	方向性	達成目標年度	実績	131	96						
		維持	毎年度	達成率	87.33%	48.00%						
指標		単位	達成目標値		前年度実績	本年度実績	次年度見込					
				目標値								
説明		方向性	達成目標年度	実績								
				達成率	#DIV/0!	#DIV/0!						
指標		単位	達成目標値		前年度実績	本年度実績	次年度見込					
				目標値								
説明		方向性	達成目標年度	実績								
				達成率	#DIV/0!	#DIV/0!						
5. 事務事業実施にかかるコスト（決算成果説明書と連動）												
経費区分	一般会計	経常経費				特別会計	-					
予算科目・事業	会計	1	一般会計	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	11	男女共同参画推進費
	大	99	その他の男女共同参画推進費	中	13	サンクスフォーラム開催経費	他	0	事業			
投入人員 (当該事務事業に対して1年間に投入した人員)	(R2以降)	前年度実績実績(千円)		本年度実績(千円)		増減理由(10%以上の場合)		次年度予算(千円)				
	正職員	0.38	人	3,115	0.38	人	2,968		0.35	人	2,733	
	任期付職員(保育士)	0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0	
	任期付職員(子ども家庭支援員)		人		0.00	人	0		0.00	人	0	
	任期付職員(CW・水質)	0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0	
	再任用フル	0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0	
	再任用短	0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0	
	会計年度	1級フル	0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0
		1級パート	0.00	人	0	0.00	人	0		0.02	人	40
		2級パート	0.20	人	527	0.20	人	532		0.15	人	399
人件費計(A)		3,642		3,500		-		3,172				
事業費	直接事業費(B)	437		437				437				
	総事業費(A+B)	4,079		3,937				3,609				
直接事業費のうち		委託料		437		437		437				
の主な歳出内訳		-		0		0		0				
財源内訳	使用料・手数料(受益者負担分)		0		0				0			
	国・県支出金		181		183				183			
	市債		0		0				0			
	一般財源		3,898		3,754				3,426			
	その他()											

6. 事務事業の事後評価★

評価視点	評価項目	評価	評価の理由、または認識している課題を記載
妥当性 評価 (上位施策/ 成果)	市の関与の妥当性	妥当	条例の趣旨に基づき実施する事業であるため、市が関与することは妥当である。
	目的の妥当性	妥当	男女共同参画推進のために必要な事業であり、目的は妥当である。
	対象(受益者)の妥当性	妥当	対象を市民及び、事業者等としていることから受益の偏りはない。
効率性 評価 (活動量/ コスト)	コスト削減・コスト効率化	余地あり	委託事業でありながら、委託先である実行委員会の事務局を市が担っており、市側の負担が大きい。コスト削減・効果について検証する必要がある。
	負担割合の適正化	適正	行政側からの男女共同参画社会づくりを働きかけを行うものであり、受益者負担等の考えはなじまず、市が負担すべきである。
	手段の最適性	検討の余地あり	効率性の観点から、現状の実行委員会への委託による事業実施が適正であるかを検討する必要がある。
有効性 評価 (成果/ 活動量)	目標達成度	達成	事業実施は開催することで達成できているものの、多くの市民が関心をもつ事業内容とする手段を検討する必要がある。
	上位施策への貢献度	貢献できた	事業実施目的から上位施策へ貢献はできている。ただし、近年はコロナ禍の影響で開催規模の縮小せざるを得なく、広く市民に訴えかけられなかった。
	事業継続の有効性	ある	男女共同参画社会の実現を目指す必要があることから継続は必要であるが、実施方法について検討する必要がある。

7. 前年度評価時の計画と実績

前年度評価★		前年度記載した改善策(課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策)★	
評価区分	方向性	次年度以降に予算(コスト)を必要とせず、直ちに実施できる改善策	実行委員会開催に向け、前年度の反省点やアンケート結果から、次年度の開催にむけ、会議の内容の調整を行って行く。
一次評価	⑤コスト・成果ともに現状維持	次年度以降に予算(コスト)増を必要とし、中長期的に実施する改善策	なし

前年度改善策に対する実績 ★ ※上記の改善策に対して今年度実施できたこと、などを記入

例年開催しているコスモスコモンの改修により、開催場所を早い段階で検討することができた。また開催場所において実行委員会を開催することで、当日のシュミレーションを行うなど、当日の開催に向けての準備ができた。

8. 今年度評価における成果と課題(決算成果説明書と連動)★

【成果】 会議スケジュールどおり遅延することなく進めることができた。コロナ禍や小規模会場での実施ということもあり、例年より少ない参加者ではあったが、県外からの参加も見られ、本事業の関心度は高い。

【課題】 本事業の目的から事業継続は必要であるが、事業の実施手法について効率性の観点から精査する必要がある。

9. 今後の事業の方向性と改善策

成果の方向性	拡充 現状維持 縮小 休・廃止					評価区分	事務事業の方向性
		④	②	①			
		③	⑤		一次評価	②コストは現状維持し、成果を拡充	
		⑥			二次評価	②コストは現状維持し、成果を拡充	
	⑦						
	休・廃止	縮小	現状維持	拡充			
	コスト投入の方向性						

次年度以降の改善策(課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策)★

コスト(人・予算等)を必要とせず、ただちに実施できる改善策 事業の実施手法の見直し

コスト(人・予算等)を必要とし、中長期的に実施する改善策 なし

評価変更理由 抜本的な事業内容の見直しを行うこと。視聴回数の成果指標を削除すること。シート全体の文言の整理を行うこと。